



Newsletter 2023 No.1

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第64号 発行 2023年7月12日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之

〒181-8612 三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部内

Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)

email: jimujsthe.org ◇学会 URL : <https://jsthe.org>

◇編集・発行人：大島安奈

(oshimaan@daishodai.ac.jp)

【第22回全国大会報告】

第22回全国大会を、2023年3月4日(土)・5日(日)の2日間にわたり、「科目「観光ビジネス」導入による現状と今後の展望」をテーマにハイブリッド型(リアル会場：四国大学)で開催しました。リアル会場・オンライン会場合わせておおよそ60名程度の参加者を迎えて盛況のうちに終了致しました。

初日はまず14件の研究報告・教育実践報告を行いました。その後に西村修一氏(元文部科学省初等中等局教科調査官・千葉商科大学准教授)より基調講演「商業高校における観光教育と科目「観光ビジネス」をいただき、合わせて勝野美江氏(徳島県副知事)による話題提供「国際的なイベントを活かした地域での観光教育～東京オリパラホストタウンから2025年大阪・関西万博へ～(ビデオ出演)」がなされました。パネルディスカッションは、「科目「観光ビジネス」導入による現状と今後の展望」というテーマに基づき、鈴鹿剛氏(四国大学准教授)、川村知輝氏(四国大学4年生)、黒田忠良氏(一般社団法人ツーリズム徳島代表理事)、中村成宏氏(静岡県立島田商業高等学校教諭)をパネリストとして迎え、宍戸学氏(日本大学・学会長)のコーディネートのもとで高大接続も視野に入れた多様な議論と提案がなされました。基調講演・パネルディスカッションの内容は機関誌に収録予定です。

2日目は、「教育実践(高大連携)」「言語とコミュニケーション」「地域インターンシップ(地域で観光人材をどう考えるか)」をテーマとしたワークショップを実施しました。いずれのプログラムも観光・ホスピタリティ教育を考える上で示唆に富んだ内容となり、活発な議論がかわされました。

【理事会報告】

<2023年度第1回理事会>

日時：2023年5月13日(土) 13:00～14:30

場所：オンライン会議システム Zoom

出席：宍戸、橋本、藤田、芝木、鈴木、千葉、中村、難波、野口、福本、古本、峯俊、高橋、板垣、大島安奈、大島知典、鈴鹿、森園

欠席：大串、坂本、峯俊、永田、岩田、澁谷

[会長挨拶]

[報告事項]

議事1. 会務報告

編集委員会の鈴木委員長より、機関誌の刊行計画の報告がありました。

[審議事項]

議事1. 2023年度総会について

古本総務委員長より、立教大学池袋キャンパスにて開催予定の2023年度総会の付議内容および会場運営について説明がありました。原案通り承認し準備を進めることになりました。合わせて総会後に開催される基調講演・教育実践報告会について、福本研究事業委員長より確認がなされました。

議事2. 次期理事会について

次期役員体制検討チームの橋本副会長より経過の報告がありました。

これまでの運営体制からの引き継ぎを次期理事会の課題とするとともに、今後の学会の発展への対応を視野に入れ、総会に理事定数の増員(上限20名)を諮ることが提案され、承認されました。

議事3. 入退会審査・報告

正会員3名の入会が承認されました。併せて、1名の退会が報告されました。

議事4. その他

- 名誉会員である岡本伸之氏の逝去の報告ならびに学会としての対応について検討しました。
- 次年度にウェブサイトの全面改訂を行う方向で検討を開始することになりました。

<2023年度第2回理事会>

日時：2023年6月10日(土) 11:00～12:00

場所：リアル会場：立教大学、オンライン会議システム Zoom を併用して実施

出席：宍戸、橋本、藤田、大串、芝木、鈴木、中村、野口、福本、古本、峯俊、高橋、板垣、岩田、大島安奈、大島知典、澁谷、鈴鹿、森園

欠席：坂本、千葉、中井、難波、永田

[会長挨拶]

[報告事項]

議事1. 会務報告

編集委員会の鈴木委員長より、機関誌の刊行計画及び、2023年度事業計画の報告がありました。宍戸会長より機関誌への投稿状況について確認がありました。併せて、教育実践報告の掲載数について意見がありました。

〔審議事項〕

議事 1. 2023 年度総会について

古本理事より 2023 年度総会の参加申し込み状況、議事について説明がありました。

2022 年度決算報告について、初期入会者の未納対応が課題だと説明がありました。2023 年度事業計画について、今年度は新役員体制になることから理事会を 9 月の臨時理事会を含む計 6 回開催する予定です。2023 年度一般会計予算について、ウェブサイトの大幅な改定を予定しているため、予備費を大きく計上していることが説明されました。

また、各議案の説明者が確認されました。

議事 2. 2023 年度-2024 年度役員体制について

新規理事会検討チームである橋本副会長より新役員案が提示されました。所属大学の地域バランス等を考慮し、新役員案を作成したことが説明されました。幹事は理事会承認事項となるため、役員に対して推薦の依頼がされました。

役員の所属先の表記方法について意見が出されました。今後、所属先の表記について検討することになりました。

議事 3. 2023 年度-2024 年度事業計画について

研究事業委員会の福本委員長より、事業計画案が示されました。両年度の研究会、全国大会、総会では以前実施したアンケート調査の結果を踏まえ、「就職とキャリア」を新規に取り扱う方針が説明されました。また、2023 年度の第 1 回研究会を 9/9、第 2 回研究会を 12/2 に開催することが決定しました。2023 年度全国大会は 3/2,3 を第一候補として、9 月の臨時理事会で開催校を検討します。

全国大会や総会の開催方法について意見が出されました。今後の理事会で、総会や全国大会をハイブリッドで継続するかどうか検討することになりました。

議事 4. 謝金の支払い方針について

これまで明文化されてこなかった、非会員の基調講演者及び、登壇者（話題提供・パネリスト・研究会）の謝金について確認されました。

謝金のみならず全国大会の参加費などについても、内規や申し合わせ事項の作成が必要であると指摘されました。この点に関しては、今後の理事会で検討されることになりました。

議事 5. 入退会審査

正会員 2 名、準会員 1 名の入会が承認されました。併せて、2 名の退会が報告されました。

議事 6. その他

特別会員の入会手続きについて確認がありました。

【2023 年度総会・基調講演・教育実践 報告会報告】

2023 年度総会・基調講演・教育実践報告会を、2023 年 6 月 10 日（土）に実施しました。今年度はリアル会場を立教大学池袋キャンパスに配置し、オンライン会場と合わせたハイブリッド形式で実施しました。

12:10 より評議員会を開催し、評議員からは今後の学会が取り組むべきテーマにつき積極的なご提言をいただきました。13:00 より総会（定数充足）を開催し、2022 年度の事業報告・決算、2023 年度の事業計画・予算について承認を得ました。

その後約 50 名の参加者を迎えて「基調講演・教育実践報告会」を開催しました。まず、江藤誠晃氏（株式会社 BUZZPORT 代表、「観光甲子園」統括プロデューサー）より、「変容を続ける『観光甲子園』～探究型学習の未来形」を考える～と題した基調講演をいただきました。その後の教育実践報告会では、「教育実践の「場づくり」を考える」というテーマに基づき、大日方樹氏（岩倉高等学校就職指導部 主任教諭）、藤原章氏（長崎総合科学大学総合情報学部総合情報学科マネジメント工学コース 准教授）、潮亭氏（スカイホップバスマーケティングジャパン株式会社 総合企画部部長）による実践報告がなされた後、福本賢太氏（阪南大学／学会理事）によるコーディネートの元で、今後の観光教育の場づくりにおいて検討すべき課題について会場との質疑応答も踏まえつつ議論を行いました。基調講演・教育実践報告会の内容は機関誌に収録予定です。

〔2023 年度事業計画〕

1. 年度内 2 回の全国集会開催
 - 通常総会・シンポジウム：2023 年 6 月 10 日（立教大学・オンライン）
 - 第 23 回全国大会：2024 年 3 月の開催を予定
2. ニュースレターの発行（6 月、11 月、2 月の年 3 回予定）
3. 機関誌の発行（第 17 号：2024 年 3 月発行予定）
4. 全国大会発表要旨集 No.23 の発行
5. 理事会の開催（5 月、6 月、9 月、11 月、1 月、3 月の年 6 回）
6. 広報委員会による普及活動（SNS 更新、新規会員獲得事業、学会行事広報）
7. 研究会の実施（年 2 回を予定：理事会との同時開催）
8. J-Stage による学術情報発信
9. グループ研究助成の運用：新規 1 件 [長崎の街歩き観光「学ぶさるく」プロジェクト～修学旅行生と大学生が紡ぐ「N - SUGOROKU」～]

10. 分科会制度の運用：JSTHE 観光コミュニケーション分科会、随時募集中
11. ウェブサイトの整備：リニューアル検討、定期更新、情報発信体制の強化、会員専用サイトの整備他
12. その他

【新役員体制について】

2023年6月10日の総会において、2023年度-2024年度の役員体制が承認されました。以下の通りになります。

〔会長〕

藤田 玲子（成蹊大学 経営学部）

〔副会長〕

中村 哲（玉川大学 観光学部）

福本 賢太（阪南大学 国際観光学部）

〔理事〕

板垣 武尊（和洋女子大学 国際学部）

岩田 聖子（大阪医科薬科大学 薬学部）

大串 恵太（追手門学院大学 共通教育機構）

大島 安奈（大阪商業大学 公共学部）

坂本 健成（中村学園大学 流通科学部）

澁谷 和樹（常葉大学 経営学部）

鈴木 剛（四国大学 経営情報学部）

鈴木 涼太郎（獨協大学 外国語学部）

丹治 朋子（宮城大学 食産業学群）

千葉 里美（北海商科大学 商学部）

中井 延美（明海大学 外国語学部）

難波 繁之（旭川情報ビジネス専門学校）

野口 洋平（愛知淑徳大学 交流文化学部）

古本 泰之（杏林大学 外国語学部）

森越 京子（北星学園大学短期大学部）

〔監事〕

高橋 修一郎（文京学院大学 外国語学部）

橋本 俊哉（立教大学 観光学部）

〔幹事〕

大島 知典（立命館大学大学院 経営管理研究科）

峯俊 智徳（立命館大学 経済学部）

森園 奈央（東海大学 観光学部・教養学部）

〔評議員〕

小畑 力人（大阪観光大学）

宍戸 学（日本大学）

鈴木 勝（大阪観光大学）

清水 誠（中村学園大学短期大学部）

豊川 洋（元 川村学園女子大学）

村上 和夫（立教大学）

安島 博幸（立教大学）

【機関誌編集委員会】

日本観光ホスピタリティ教育学会

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第17号

〈重要 投稿くださった先生方へ〉

『観光ホスピタリティ教育』第17号は現在投稿原稿の査読を進めています。これまでに投稿くださった先生方へは「原稿を拝受した」旨のメールをお送りいたしております。拝受確認のメールが届いていない方がいらっしゃいましたら、事務局まで、ご一報くださいますようお願い申し上げます。

本学会本部事務局 (jimu@jsthe.org)

【新規事業委員会】

2023年度グループ研究助成は、審査の結果、以下の研究を採択いたしました。

研究テーマ：長崎の街歩き観光「学ぶさるく」プロジェクト-修学旅行生と大学生が紡ぐ「N-SUGOROKU」
採択者：藤原 章(長崎総合科学大学)氏ほか3名

【広報委員会】

広報委員会では、学会公式ウェブサイトに加え、学会公式 Facebook ページ、学会公式 Twitter を運営しています。本学会の活動や予定について、これらのメディアを活用して情報発信を行います。ぜひご活用ください。

また、本学会では新規会員を募集中です。特に、観光ホスピタリティ教育に関心を寄せる大学院生と実務家の入会を促進しています。手続き等について詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

さらに、観光・ホスピタリティに関連する学校や団体に向けて、本学会の全国大会や研究会、各種イベントの情報を配信しています。配信先となる学校・団体等がございましたら情報をお寄せください。

【訃報】

岡本伸之先生

本学会名誉会員、立教大学名誉教授、岡本伸之先生が2023年4月19日にご逝去されました。享年81歳でした。

岡本先生は、発起人の一人として本学会の設立に携わり、第2代会長としても、日本で初めての観光関連の国際学術会議となった2004年の第10回アジア太平洋観光学会 (Asia Pacific Tourism Association) 大会 (於長崎国際大学) の開催など、本会の運営および発展に多大のご尽力を賜りました。

ここに先生の長年にわたるご尽力に対し感謝申し上げますとともに、心より深甚なる弔意を表します。なお、葬儀はすでに近親者でとり行われたとのことです。

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人：大島安奈 (大阪商業大学)

E-Mail : oshimaan@daishodai.ac.jp

【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>

